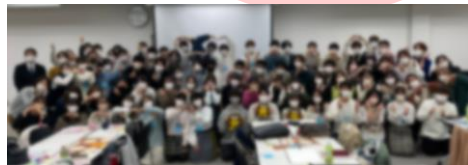


関西北陸ブロック みんなの共済2022



概要

日程：11/19(土)
11:30~18:30
場所：新大阪丸ビル別館
YouTubeLive

参加者

- 富山大(5)、富県大(4)、金沢大(1)、福井大(4)、同志社(2)、立命館(13)、
- 龍谷大(6)、京教大(5)、京都橘(6)、奈良女(1)、奈良教(5)、滋大津(3)、
- 滋彦根(1)、滋県大(3)、近畿大(2)、阪南大(2)、大阪大(4)、公立大(1)、
- 樟蔭女(2)、関学大(5)、神高専(1)、和歌山(1)、共済連(2)、連合会(1)、
- BK職員(3)、BK学生事務局(11) 計22会員92名



対面で参加できてよかったです！
いろいろな大学の人と話しました！
(福井大2年)

XX 本セミナーの 開催趣旨とは

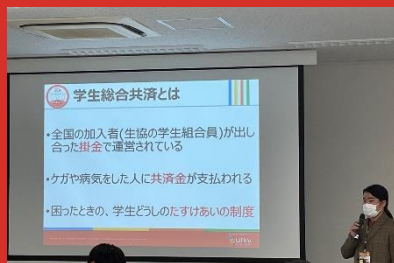
7月中止になってしまった想いを胸に

本セミナーでは、参加者がわたしたちの共済の仕組みや変わらない想いについて学び、互いに交流する場を設けることで、これからの健康・安全に関する取り組みの可能性を見出すことを目的としました。あわせて、7月に開催される予定だったはずの学習機会を設け、ブロック全体でたすけあいの想いを学ぶことで、新学期をはじめとする共済活動の具体的なビジョンを明確化してもらいました。

00 企画① 仕組みと成り立ちを知る時間

そもそも共済ってなに？

この秋の時期は、春から夏にかけて得た学びを具体的な活動としてアウトプットする時期であると考えます。しかし、これまでの期間に関西北陸ブロックで共済を学ぶ場を設けることができなかつたため、共済に関する知識に差がついてしまっている現状がありました。そこで、実践的な活動につながる土台をより丁寧につくるために、共済の仕組みと成り立ちについて改めて知る時間を用意しました。



詳しく知ることができて良かった。班の人と話して交流することができた。
(滋県大2年)

01 企画① たすけあいに気付く時間

たすけ・たすけられの経験を振り返る

大学生協のCO・OP学生総合共済の想いを理解するためには、身近な「たすけ」や「たすけあい」から、その違いや存在を知り、大学生協のCO・OP学生総合共済が「たすけあい」であることを知る必要があります。

企画0で学んだことから「たすけあい」を感じ、そこに込められた想いを考えてもらいました。



自分は助けられてばかりなので、周りを助けて「たすけあい」にしたいです。
(立命館2年)

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [大前 真悠]
Omae.Mayu@univ.coop

02 企画② 想いを広げる時間

給付事例をもとに込められた想を感じる

企画0で共済の基礎を知り、企画1で身近なたすけあい・共済に込められた想について学びました。この時間では、ここまで学んだことを実際にどんな取り組みが行われているかと照らし合わせながら、実際の事例とのつながりを感じてもらいました。

給付事例をもとに、共済事業・活動の意味・意義、今後の可能性について学び、考える内容となっていました。



より共済を身近に感じることができて、4本柱が相互に関わっていることが分かりました。
(奈教大2年)

03 企画③ これからを考える時間

実際に共済活動をやってみよう

新学期も間近に迫るこの時期には、より実践的な学びを得る必要があると考えます。そのため、ここまでで学んだ共済の想いと今後の可能性について、実際の共済活動をやってみることでアウトプットをする時間としてこの時間が設定されました。

実際に共済提案や予防活動を行うことで、自分の言葉でたすけあいを広げられるようになることを目指しました。



ロールプレイでよくある状況を想定してできたので、今後の新学期活動に活かして行きたいと思った。
(富山大1年)

04 オptional企画 自大学の時間

組合員に想を届けるには

企画1・2にて、共済活動に関するインプットを続け、企画3にてアウトプットの場が設けられましたが、より自大学での活動につなげやすくするような時間が必要だと考え、Optional企画として本企画が設定されました。

自大学の現状を踏まえ、これまでに学んだ想いをこれらの活動につなげるため、大学ごとの班に分かれたグループワークが中心に進められました。



活動を振り返ることができた。4本柱にまたがっている活動が多いと感じた。
(近畿大2年)



スペシャルゲストとしてタヌローも来てくれました！

+A 22みんな共を盛り上げてくれた 共済推進委員とGLさん

たくさんの協力をありがとう！

本セミナーは、5月のゴールデンウィークが明けたころから、関西北陸ブロックの共済推進委員会のメンバーが中心となって創り上げられました。企画書から提起資料まで打ち合わせを重ね、共済活動を組合員に広げるためのセミナーが完成しました。

惜しくも7月の開催は延期となってしまいましたが、11月に延期開催という形で、各大学生協から集まったグループリーダーとともに対面で開催できたことは嬉しく思います。このセミナーで得たつながりや、学んだ想いをぜひ各大学生協の組合員に広げ、ブロック全体の共済活動が盛り上がりければ幸いです。

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [大前 真悠]
Omae.Mayu@univ.coop



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。